

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 26日

福岡県知事 服部 誠太郎 殿

提出者

住 所 福岡県京都郡苅田町新浜町1番地3
名 称 日産自動車九州株式会社
代表者 代表取締役 富山 隆
電話番号 093-435-1213

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します

事業場の名称	日産自動車九州株式会社		
事業場の所在地	福岡県京都郡苅田町新浜町1番地3		
事業の種類	輸送用機械機具製造業・自動車附属品製造業・自動車製造業 [3111]		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値 *排出量は日産自動車㈱と日産自動車九州㈱の合計を示す			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	20,932t	全処理委託量	7,038t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	5,552t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	7,038t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	13,894t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番) 京保

福岡県

-5.6.26

第161-9号

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類:)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量
①

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

項目 実績値
①排出量
②+⑧自ら再生利用を行った量
⑤自ら中間処理により減量した量
⑦自ら埋立処分を行った量
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収を行いう業者への処理委託量

自ら中間処理した後
の残さ量
⑥

自ら中間処理
した量
④
④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑪のうち再生利用業者への処理委託量
⑫

自ら中間処理により減量した量
⑦

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑪

自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑪のうち再生利用業者への処理委託量
⑫

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

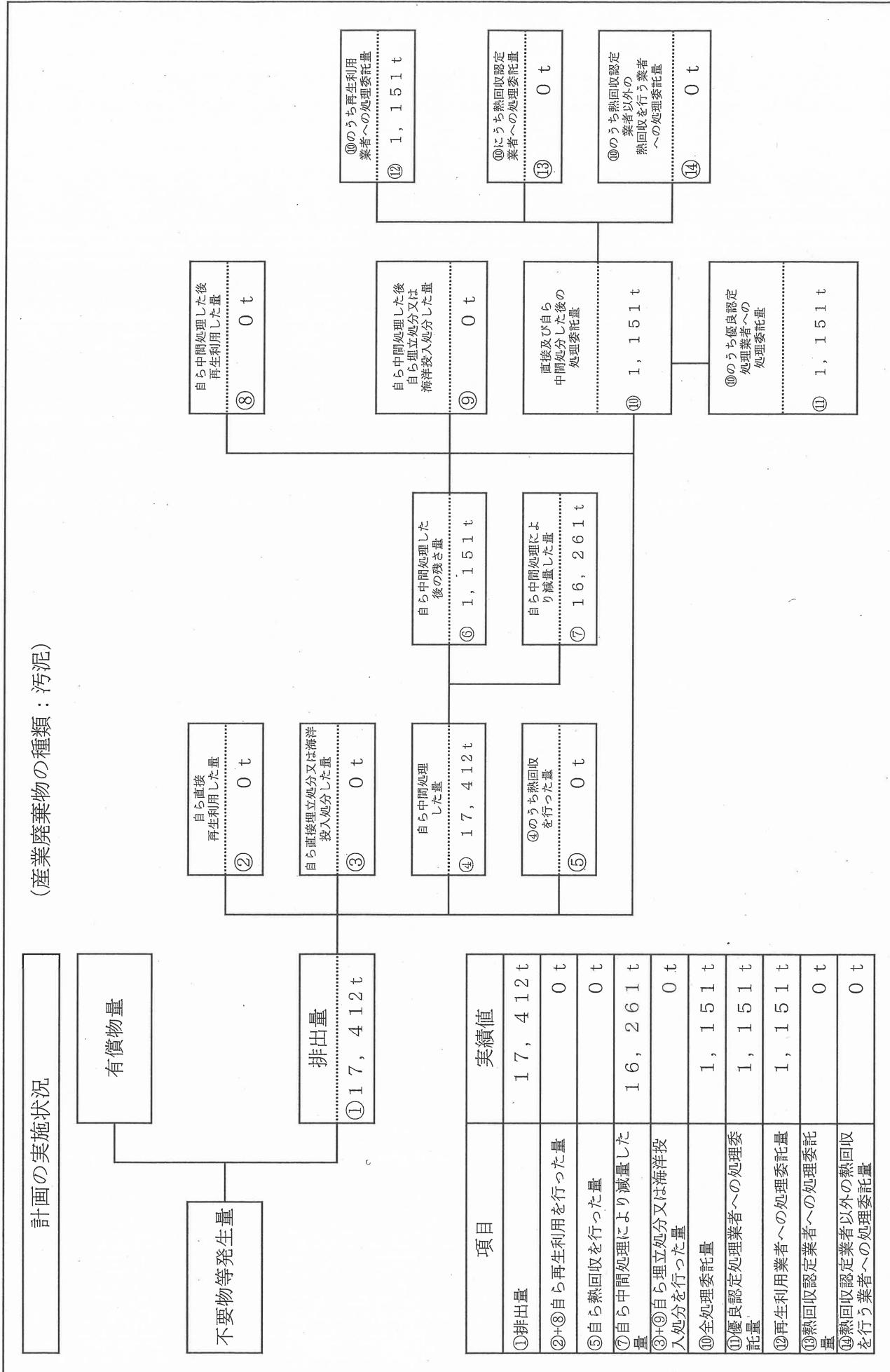
自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨
⑪のうち優良認定業者への処理委託量
⑫

(第2面) 別紙のとおり

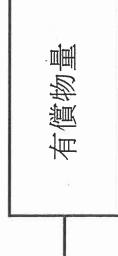
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



不要物等発生量

排出量
① 2,934 t

自ら直接
再生利用した量
② 0 t

自ら直接埋立処分又は海洋
投入処分した量
③ 0 t

実績値
2,934 t

自ら中間処理
した量
④ 0 t

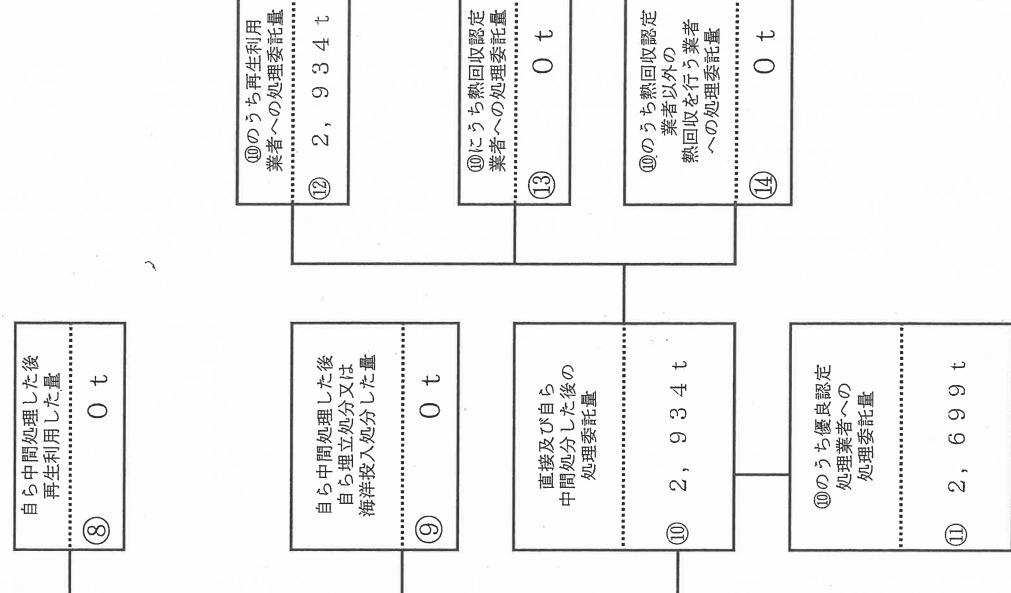
自ら中間処理により減量した
量
⑤ 0 t

2,934 t

自ら中間処理により減量した
量
⑥ 0 t

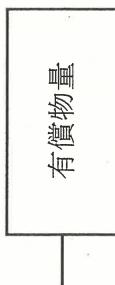
自ら中間処理により減量した
量
⑦ 0 t

2,934 t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
② 0 t

排出量
① 4 90 t

自ら直接埋立処分又は海洋
投入処分した量
③ 0 t

項目 実績値

①排出量 4 90 t

②+⑧自ら再生利用を行った量 0 t

⑤自ら熱回収を行った量 0 t

⑦自ら中間処理により減量した
量 0 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投
入処分を行った量 0 t

⑩全処理委託量 4 90 t

⑪優良認定処理業者への処理委
託量 3 56 t

⑫再生利用業者への処理委託量 4 90 t

⑬熱回収認定業者への処理委託
量 0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収
を行う業者への処理委託量 0 t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0 t

自ら直接埋立処分又は海洋
投入処分した量
⑨ 0 t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑩ 4 90 t

自ら中間処理した後
の残さ量
⑪ 356 t

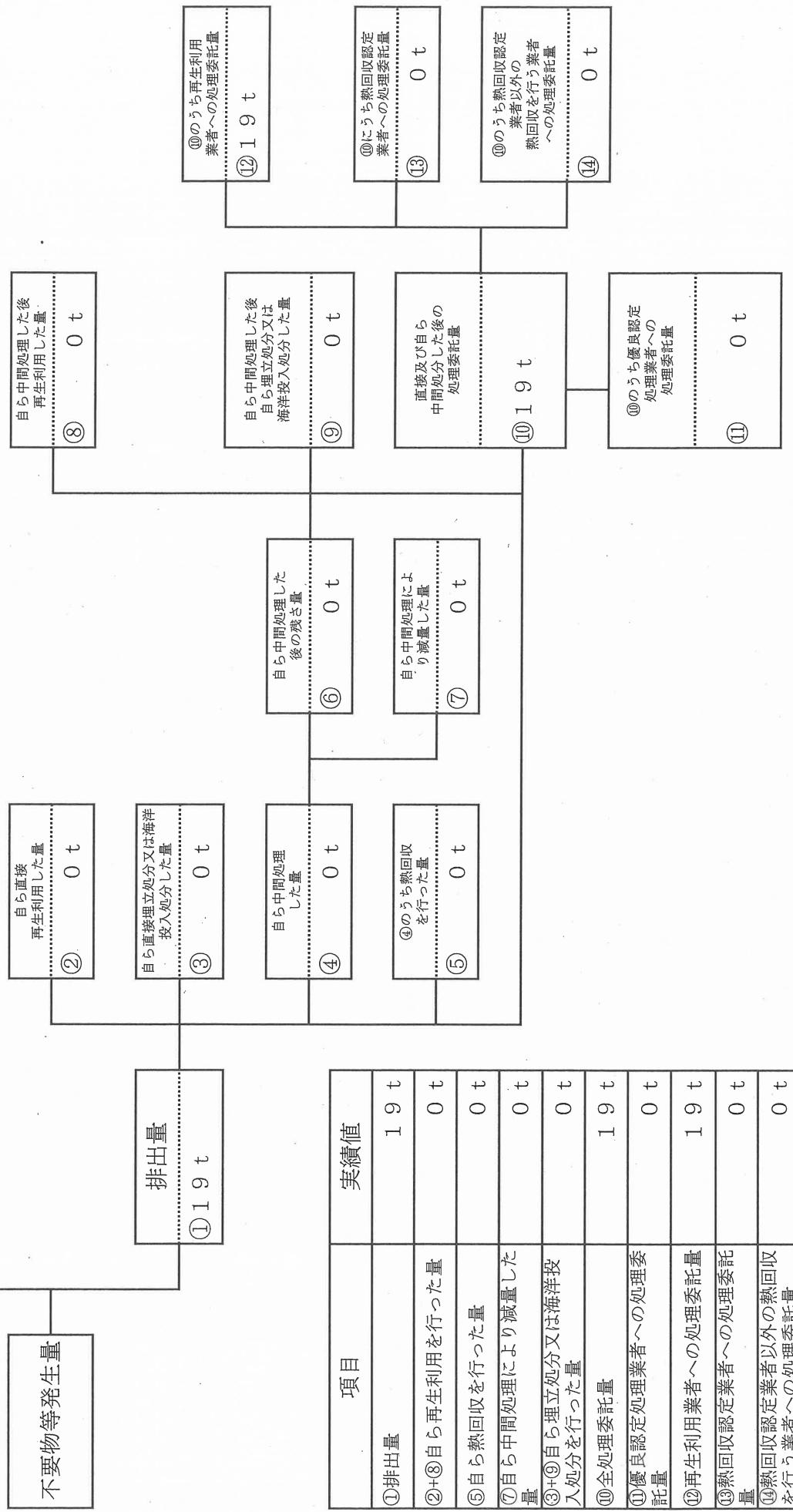
⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 490 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑭ 0 t

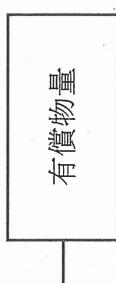
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

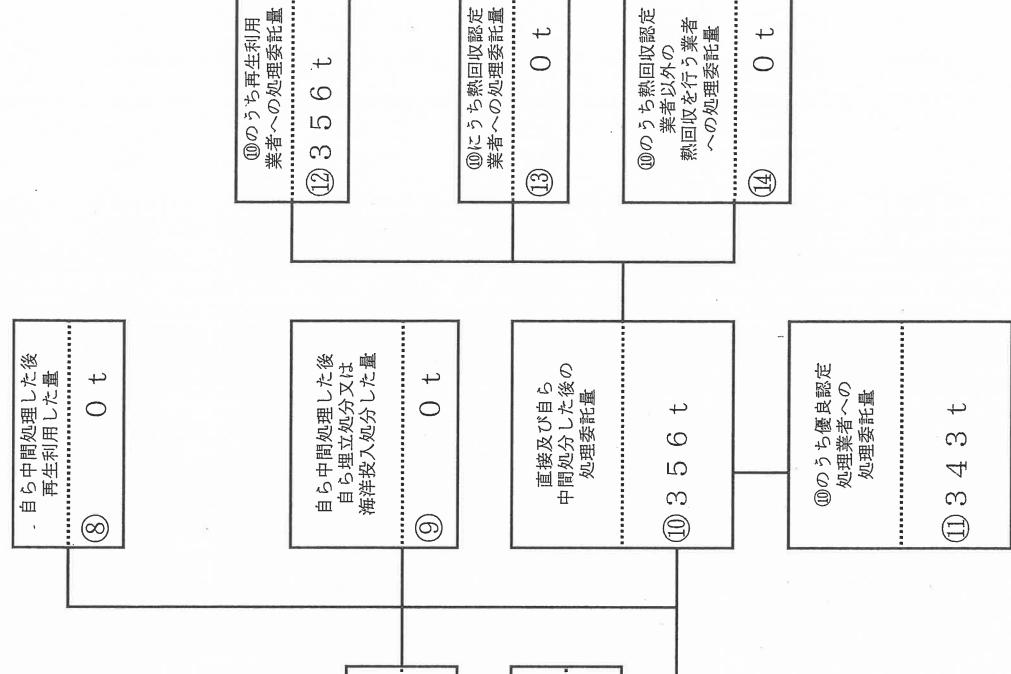
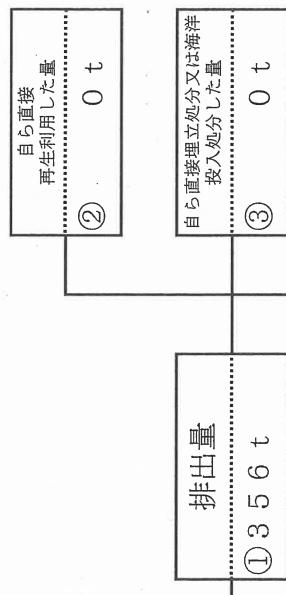


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

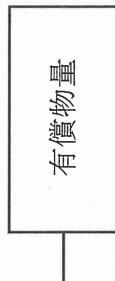


項目
①排出量
②自ら直接再生利用した量
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
④自ら中間処理した量
⑤④のうち熱回収を行った量
⑥自ら中間処理した後の燃費量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑧自ら中間処理した後再生利用した量
⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑩自ら中間処理した後直接及び自ら中間処分した後の処理委託量
⑪⑩にうち優良認定業者への処理委託量
⑫⑪にうち再生利用業者への処理委託量
⑬⑪にうち熱回収認定業者への処理委託量
⑭⑪にうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑮⑪にうち熱回収を行った量
⑯⑪にうち優良認定業者への処理委託量
⑰⑪にうち再生利用業者への処理委託量
⑱⑪にうち熱回収認定業者への処理委託量
⑲⑪にうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量



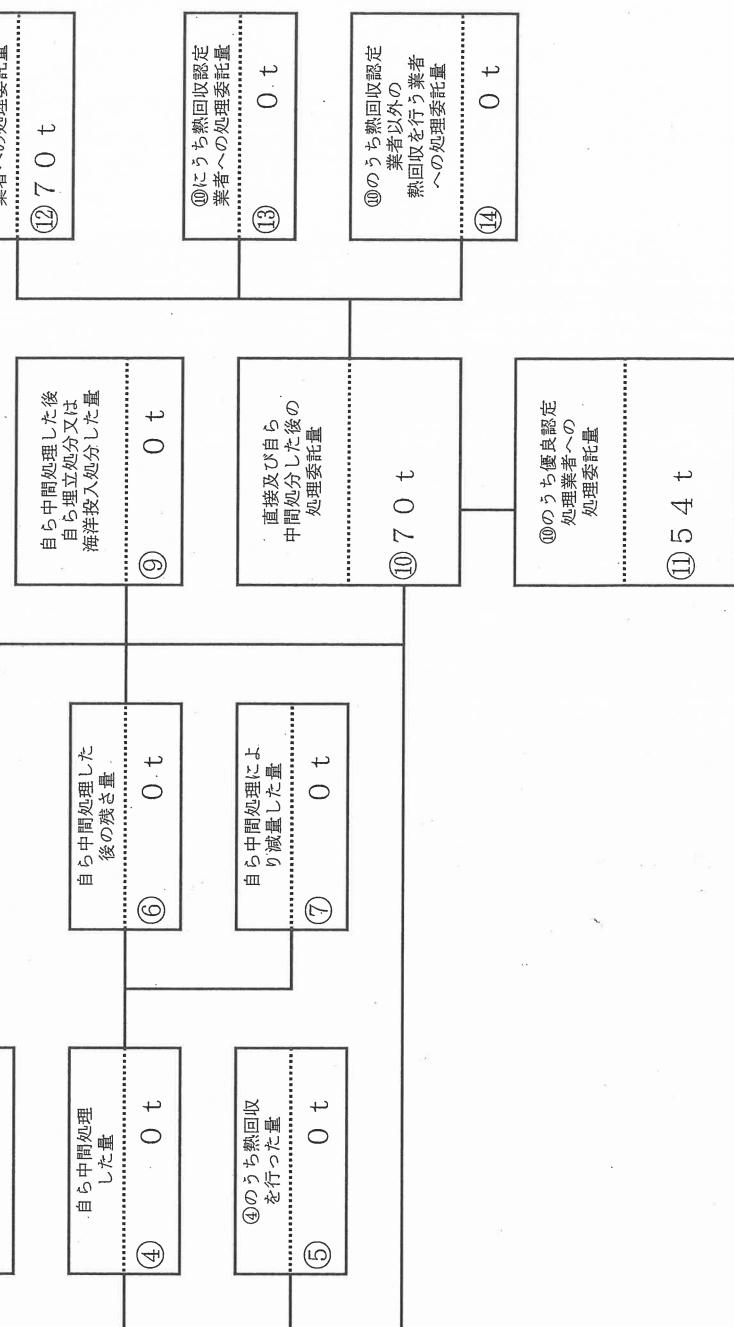
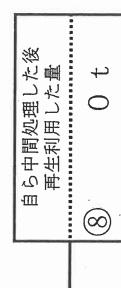
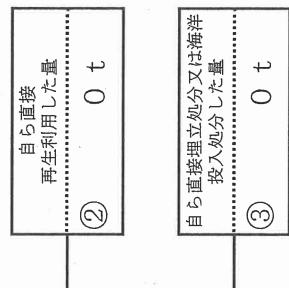
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)



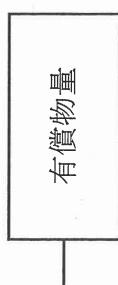
項目
実績値

①排出量	70 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	70 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	54 t
⑫再生利用業者への処理委託量	70 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行いう業者への処理委託量	0 t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず)



項目 実績値

①排出量	2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら理立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

項目 実績値

②自ら直接再生利用した量	0 t
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0 t
④自ら中間処理した量	0 t
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
⑨自ら中間処理した後、自ら埋立又は海洋投入処分した量	0 t
⑩直接及び自ら中間処分した後の処理委託量	2 t
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑭のうち再生利用業者への処理委託量	0 t

項目 実績値

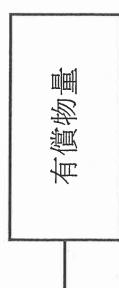
⑧自ら中間処理した後、再生利用した量	0 t
⑯⑯のうち再生利用業者への処理委託量	2 t
⑯⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑯⑯のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
⑯⑯のうち優良認定処理業者への処理委託量	0 t

項目 実績値

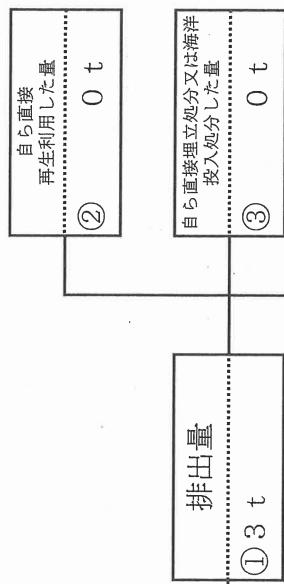
⑨自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0 t
⑩自ら中間処理した後、自ら埋立又は海洋投入処分した量	0 t
⑪自ら中間処理した後の残さ量	0 t
⑫自ら中間処理により減量した量	0 t
⑬自ら中間処理した後、自ら埋立又は海洋投入処分した量	0 t
⑭直接及び自ら中間処分した後の処理委託量	2 t
⑮⑮のうち熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑮⑮のうち再生利用業者への処理委託量	2 t
⑮⑮のうち優良認定処理業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

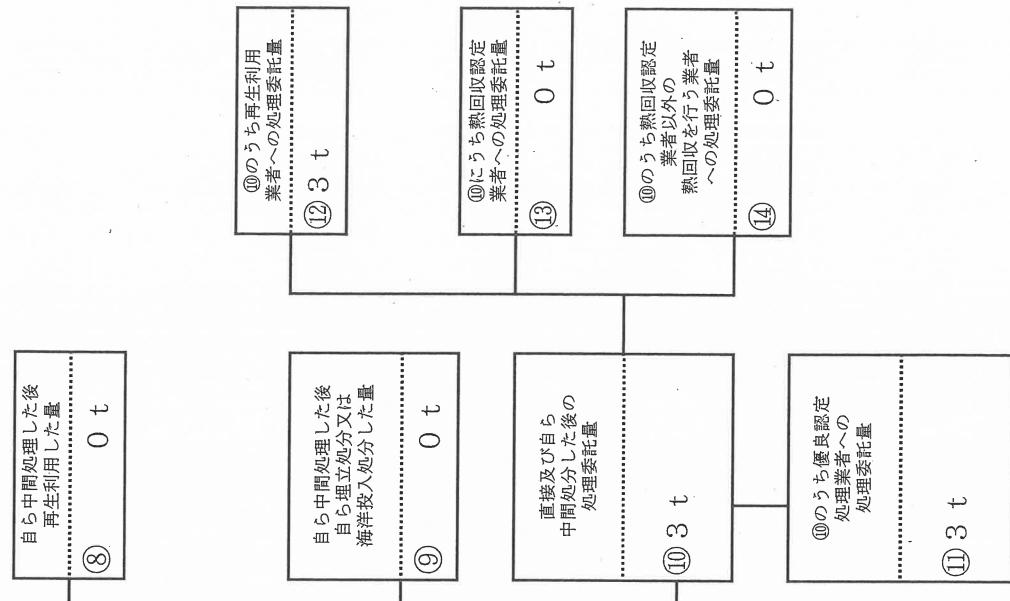
(産業廃棄物の種類：廃油)



不要物等発生量



有償物量



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。